

II-3. 遺跡整備・復元事業と展示

平城宮跡・藤原宮跡等の整備

1. 朱雀門の復元事業

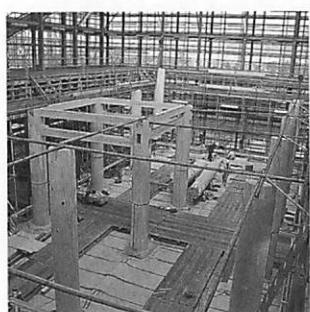
本年度の実績 平成5年度に着手した朱雀門の復元事業は、本年度すべての工事が終了し、2月4日に竣工式が行われた。

本年度は以下の工事を行った。屋根瓦葺と鷲尾の据え付け、二重高欄の組立、妻の大壁などの漆喰塗り、二重の丹土塗り及び黄土塗り、風鐸、尾垂木の木口金物などの銚金物の製作と取り付け等の工事。これと並行して、妻壁の格子組、小屋内の筋造など耐震補強工事を行った。これら本体工事が完了後、鉄骨造の素屋根、仮設事務所等の解体を行い、清掃、跡片付けを行い、すべての工事を完了した。

(村田健一)

復原研究と事業の経過

昭和39年	朱雀門跡の発掘調査（第16・17次）が行われ、門の位置と規模を確認
昭和40年	朱雀門の復原模型を10分の1の縮尺で作製
昭和54年	「平城宮跡整備にともなう建物（朱雀門）復原に際しての材料・工法の検討」の調査研究に着手
昭和60年までの7年間	
昭和61年	特別研究「平城宮朱雀門の意匠と構造に関する研究」に着手 昭和63年までの3年間
同上	上記研究の開始にともない「平城宮朱雀門調査研究会」を設置 浅野清氏ほか8名の委員を委嘱
平成元年	基壇復原工事着手
平成2年	朱雀門跡を再発掘（第211次） 礎石は自然石であったことを確認
平成4年	基壇復原工事完了
平成5年	本体工事着手
平成10年	復原工事完了



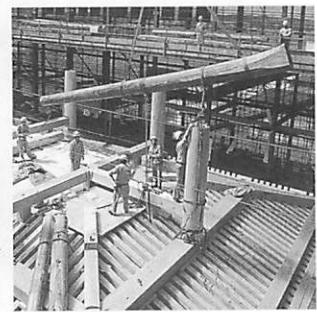
初重柱立



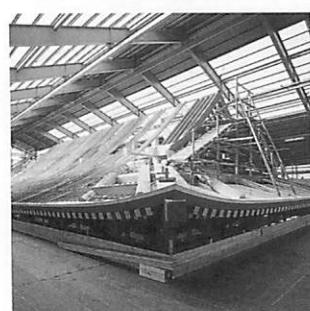
初重軸部・小屋組立



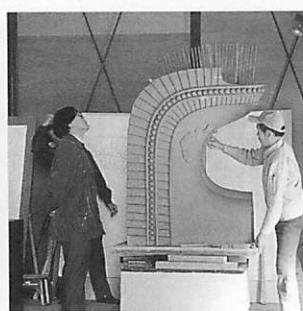
初重軸部等組立



二重軸部等組立



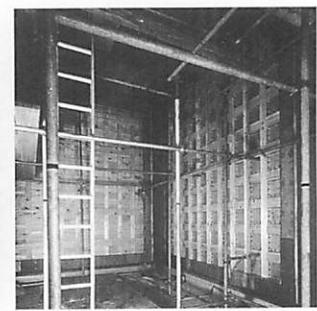
二重小屋組・垂木組立



鷲尾製作



二重屋根瓦葺



妻大壁耐震補強